

平成 29 年 12 月 7 日

報道関係者各位

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト

理事長 田中日出男

みんなの夢が未来を作る「すみだの夢 地域応援プロジェクト」

未来を担う子供達が、日本の伝統文化を体感・理解して、日本一のおもてなしができる「マナーキッズ大使」を目指すプロジェクトの件

墨田区は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた地域活性化プロジェクトとして、23 区初となるふるさとチョイスのガバメントクラウドファンディングを活用した「すみだの夢応援成事業」を開始しました。第 1 回目となる今年は 7 つのプロジェクトがチャレンジしております。（「すみだの夢ふるさとチョイス」で検索）

公益社団法人マナーキッズプロジェクトは、墨田区と共催で、「すみだの夢 地域応援プロジェクト」の一つとして、「未来を担う子供達が、日本の伝統文化を体感・理解して、日本一のおもてなしができる『マナーキッズ大使』を目指すプロジェクト」を下記の通り展開します。（「すみだの夢ふるさとチョイス」で検索）

応募の動機として「日本の伝統文化を学ぶ機会が少ないので、このプロジェクトを通じて日本の伝統文化を学びたい。」という声が多数寄せられております。

ふるさと納税を活用した、未来を担う子供達が、日本の伝統文化を体感・理解する墨田発のプロジェクトが、全国各地に広がることを期待します。

ご取材賜れば幸甚です。

記

1 事業の目的

未来を担う子供達が、日本一のおもてなしができるマナーキッズ大使に選抜されるように、2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて日本が誇る一流講師陣による 33 回の研修プログラムを体験することにより、美しい姿勢、お辞儀・挨拶が出来るそして日本の伝統文化を身に付けた墨田の子供達に逢いにいきたいと海外の方々から思われる街、墨田を構築する。

2020 東京オリンピック・パラリンピックの到達目標

- ・美しい姿勢、お辞儀・挨拶を完全に身に付ける
- ・そのためにマナーキッズ体幹遊びを身に付ける
- ・「マナーキッズ」調べ 100 点満点に到達する
- ・茶道、華道、書道、折り紙等日本の伝統文化を体験する
- ・日本の伝統スポーツについて学ぶ
- ・著名人からのメッセージを聞く
- ・トップアスリーの体験談を聞く

- ・グループ討議を通じてプレゼンを体験する

2 事業の期間

平成 29 年 7 月～平成 30 年 3 月 31 日（平成 32 年 7 月まで 33 回にわたり、月 1 回、実施予定）

3 事業内容の概要

未来を担う子供達が日本の伝統文化を体感・理解するため、月 1 回、次の内容の研修を行う。

- ・日本の伝統的な礼儀作法を学び、美しい姿勢、お辞儀・挨拶仕方、食事のマナーを体得する
- ・茶道、華道、書道、折り紙等日本伝統文化を体験する
- ・体幹遊びを体験し、美しい姿勢を体得する
- ・日本の伝統スポーツについて学ぶ
- ・著名人からのメッセージを聞く
- ・トップアスリートの体験談を聞く

4 スケジュールと実施内容の詳細

	1	2	3	4	5				
1 1 月 4 日（土）	オリエンテーション（保護者も参加） 趣旨説明 作業：「マナーキッズ」調べに挑戦、夢を描こう、目標（長期目標、中期目標、短期目標）を立てる。 自主学习（読書、音楽、絵画、能等本物を見る、キャンプ、祭り等の体験活動、英会話他）の説明 新日本フィルハーモニーバイオリン演奏を聴く（本物に触れる）								
1 2 月 1 6 日（土）	礼法	茶道	茶道	体幹	中村桂子氏				
1 月 2 0 日（土）	礼法	華道	華道	書道	折紙				
2 月 1 7 日（土）	礼法	茶道	茶道	体幹	塚原光男、千恵子両氏				
3 月 1 7 日（土）	礼法	華道	華道	書道	川淵三郎氏				
時間：1	13:00～13:45	2	13:50～14:35	3	14:40～15:25	4	15:30～16:15	5	16:20～17:05

会場：11 月 4 日（土）、12 月 16 日（土）、2 月 17 日（土）、3 月 17 日（土）：

墨田区役所 131 会議室

東京都墨田区吾妻橋 1-23-20 休日・夜間入口。13 階。東京メトロ銀座線「浅草駅」5 出口から徒歩約 5 分、都営地下鉄「浅草駅」A5 出口から徒歩約 5 分

1 月 20 日（土）：すみだ生涯学習センターエントランスホール

東京都墨田区東向島 2-38-7

東武線「曳舟駅」、「東向島駅」、京成線「京成曳舟駅」徒歩約 5 分

講師：

礼法：鈴木万亀子小笠原流礼法総師範、小笠原流礼法常任理事、本部教授

茶道：河原孝子（宗孝）茶道裏千家名誉師範、関東第一学校茶道連絡協議会委員長、淡交会特別参事

華道：山口眞利子（美松）華道家元池坊華道教授、池坊東京連合支部支部長、池坊東京中央橋会支部長、日本いけばな芸術協会特別会員

書道：小川美年子（溪華）読売書法会理事、書海社理事、都立高等学校講師、墨田区書道連盟常任理事

伊藤美佐子（桐花）毎日書道会会員、太玄会理事、墨田区書道連盟常任理事

折紙：小宮はじめ一般社団法人日本折紙協会認定折紙講師

体幹：根本正雄根本わくわく体操教室代表

著名人から未来を担う子供達へのメッセージ

川淵三郎公益財団法人日本サッカー協会最高顧問

中村桂子 J T 生命誌館館長

トップアスリートから未来を担う子供達へのメッセージ

塚原光男氏（オリンピック体操金メダリスト）、塚原千恵子氏（元オリンピック体操選手、指導者）

オリエンテーションヴァイオリン演奏：古日山 倫世（こひやま みちよ、新日本フィルハーモニー交響楽団 1st ヴァイオリン奏者）

5 受講者

墨田区教育委員会経由で墨田区内小学校 1～3 年生に募集案内チラシ配布。

日本の伝統文化を学びたいと定員を超える多数の応募あり。応募の動機は「補足説明」に記載。

墨田区在住小学校児童 1～3 年生 100 名（2020 年、4 年生～6 年生）及び茶道、華道、折紙を児童と一緒に学びたい保護者 63 名

以上

問い合わせ先

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長 田中日出男

電話：03-3339-6535 FAX：03-6426-1580 Email: office365@mannerkids.or.jp

URL: <http://www.mannerkids.or.jp/>

補足説明

1 すみだの夢応援助成事業について

すみだの夢応援助成事業は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた地域活性化プロジェクトとして、文化芸術活動による地域力の向上を目的に、区内で実施する「新規性のある意欲的なプロジェクト」や「社会的に意義の高いコミュニティビジネス」に対し、その経費を助成します。

区は、助成団体に「墨田区のふるさと納税を活用したクラウドファンディング」の仕組みを提供し、集まった寄付金を助成金として交付します。インターネットへの掲載に係る費用は区が負担しますが、資金集めを成功させるための広報活動や返礼品の提供は、各助成団体に行っていただきます。なお、助成団体の決定に当たっては、墨田区協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会による審査が行われます。

この制度を通じて、寄付者は、自らが支援したい事業を個別に指定して応援することができ、事業を実施する団体と寄付者がつながることで、本来の寄付の趣旨を実現することが可能となります。

また、区内外から新規性のあるコミュニティビジネスを呼び込むことで、墨田区における新たな人材の交流や地域の活性化をめざすものとします。

2 公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトについて

公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトは、幼稚園・保育園、小学校児童に対し、スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、＜体・徳・知＞バランスのよい子供を育てる活動を行っております。既に 47 都道府県において、25 万人を超える幼稚園・保育園園児、小学校児童が参加しております。（平成 17 年 4 月公益財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクト、平成 19 年 6 月 NPO 法人マナーキッズプロジェクト、平成 22 年 2 月認定NPO法人マナーキッズプロジェクトの通算。平成 26 年 10 月公益社団法人マナーキッズ®プロジェクトへ移行）

また、マナーキッズ教室を媒介とした体育・道徳融合授業は、37 都道府県 396 小学校、幼稚園・保育園において実施しております。

マナーキッズ教室に加え、早稲田大学スポーツ科学学術院「正しい姿勢研究班」及び根本正雄根本わくわく体操教室代表の協力を得て、体育・保健体育の全スポーツ及び日常の学校、園生活を通して、正しい姿勢を体得するマナーキッズ体幹遊びを実施しております。引用：東京都教職員研修センター「子供の体幹を鍛える～正しい姿勢のもたらす教育的効果の検証～」

さらに、明石要一千葉敬愛短期大学学長の提言により、幼児期、小学校期に身につけるべき、言葉、お辞儀・挨拶、歩き方・姿勢、生活、社会規範を明確にし、それに向かって、本人、保護者、教師が一体になって取り組み、次代を担う子供たちが将来、世界各国の人々から尊敬される日本人になる一助にするため、「マナーキッズ」調べを実施しております。

なお、全国で初めて予算化した品川区の浜川小学校から「規律正しい児童は学力も大きく向上する」―「マナーキッズ」を「市民科授業」に取り入れて―という事例報告がされています。

3 解決すべき地域課題や社会的課題—ヘルス & マナーコミュニティ墨田について—

2020 年に世界中から訪れるお客様を笑顔いっぱいの子供達でお出迎えしたい。美しい礼儀作

法でおもてなしをしたい。

しかし、子供・若者の状況がおかしい。人間としての基本的なマナーやルールに欠ける。私的空間と公的空間のけじめ感覚を持ち合わせない。傷つくのが怖いから他人と深く交わろうとしない。学びも含めて何事にも意欲がわからない。その上、体力や運動能力の面でもひ弱になった。

当公益社団法人は、このような子供・若者状況の是正に向けて、全国の幼稚園園児・小学校児童に対し、スポーツ・文化及び社会活動を通し、日本の伝統的な礼法を体験させることにより、挨拶、礼儀作法の基本的マナーの習得、体力・運動能力及び知的能力の向上をはかり、「体」、「徳」、「知」のバランスのとれた世界に通用する背骨ある人材育成に寄与することを目的にして活動しております。

マナーキッズプロジェクトは、既に 47 都道府県において 23 万人を超える園児、児童が参加しております。時あたかも、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、レガシー（遺産）をいかに次世代に継承するかが検討されています。

当公益社団法人は、墨田区と協働して、レガシー共創協議会が推進するプロジェクト ヘルス&マナーコミュニティ墨田（おもてなしの心を世界へ）を推進しております。ヘルス&マナーコミュニティ活動は、中学校区をモデルに幼稚園、保育園、小学校、中学校等においてマナーキッズ教室、マナーキッズ体幹遊び、「マナーキッズ」調べを実施し、また、「あいさつ運動」「クリーン作戦」「交通マナー向上」「資源回収作戦」「体力増強運動」等の施策を展開し、マナー向上、健康増進、コミュニティ活性の好環境を生むというものです。ヘルス&マナーコミュニティ墨田の成功例を全国に発信します。

4 マナーキッズプロジェクトが、「すみだの夢応援成事業」にチャレンジした経緯について

マナーキッズプロジェクトは、過去 12 回、累計 47 名のマナーキッズ大使をアメリカニューヨーク州フロストバレーのサマーキャンプ他に派遣しています。

マナーキッズ大使は墨田区総合体育館で開催される文部科学大臣杯マナーキッズ全国小学生団体戦において、試合結果、マナー、感想文、面接の結果、選出される。全国各地を回っていると、「文武両道の児童が少なくなってきた。スポーツする児童はスポーツばかり、勉強する児童は勉強ばかり。両極端になってきている」という話をよく聞く。そこで、マナーキッズ大使選考基準では、感想文やマナーの比重を高くして、文武両道を目指してほしいというメッセージを発信しております。

また、最近では、「マナーキッズ」調べ表彰者発表会からも選出されます。

1泊2日のマナーキッズ大使事前研修会では、「日本人として心得べくマナー」「グループ討議“武士道とフェアプレーの精神”」他の内容で行っておりますが、もつと充実できないかと考えていた際に、「すみだの夢応援成事業」のことを知り、ヘルス&マナーコミュニティ墨田のご縁もあり、応募した次第です。

東京オリンピック・パラリンピックは、日本及び日本人が本来持っているソフトレガシー（ソフトの遺産）を次世代に伝えるラストチャンスであると思います。外国人に自国の文化について、語ることが出来なければ、世界の人々から尊敬されません。未来を担う子供達が、小さい時から、日本の伝統的な礼儀作法、茶道、華道、書道、折紙等を体感・理解して欲しいと思います。

すみだ夢応援プロジェクトを通じ、日本の伝統的な美しい姿勢、お辞儀・挨拶、日本の伝統文化を身に付けることにより、日本に対する自信と誇りを持った自己肯定感のある子供が育って欲しいと思います。

5 応募の動機について

- ・日本の伝統文化を体験して、日本人として堂々と誇りを持って、世界に発信できるような研修を我が子に受けさせたいと思いました。そして、日々の振る舞いに大切な美しい姿勢だったり、挨拶をしっかりとみにつけられるようになってほしいです。一流の方に触れるチャンスをどうかよろしくお願いします。
- ・何事にも意欲的でやりたいことが沢山ある娘ですが、小学校時代は習い事に追われる放課後は望ましくないという親の思いから、習い事を極力控えております。総合的に活動できるプロジェクトは意欲溢れる娘の気質にぴったりだと感じまして応募申し上げました。様々な体験を通して、本当に自分がエネルギーを傾けたいことに会ってくれたら親として喜びです。また、家庭内で教えてきたマナーが国際社会において日本の美德として誇れるものであり、守り伝えて行くべき日本人のアイデンティティであるという事を体感してもらえないかという期待も御座います。
- ・以前、保育園で体験したマナーキッズ教室が、とても楽しかったので、興味を持ちました。オリンピックやパラリンピックをはじめとするボランティアを、ぜひやってみたいです。日本の文化をたくさん学んで、外国の人にたくさん教えてあげたいと思いました。
- ・日本のおもてなし文化を知って欲しいことと、親として本当の日本の伝統文化を子供に教えることが出来ないため、これを機会に子供に学んで欲しいです。また、子供が学んだものを親と一緒に学んでいきたいです。
- ・習う項目ほぼすべてに興味がある子供たちです。中でも華道、習字、折り紙は大変好きなようです。せっかく文化的なことに興味がある子供たちなので、ぜひ礼儀作法を学び国際的な場に立っても物怖じしないような経験をさせてもらえる場を希望しておりました。ぜひぜひこの地元のチャンスをいただけたら嬉しいです。
- ・子供が大人になる頃には今以上に外国人と接する機会が増えるとおもいますが、その時に大事になるのは、日本人として日本の文化などを的確に伝えて、日本や日本人を正しく理解してもらうことだと思います。そのためにもまずは、きちしたマナーを身につけて、日本の文化である茶道、華道、剣道などについても身をもって経験することが重要と感じました。そこで得た知識、経験を生かしてボランティア活動をすることにより人生の中でもとても貴重な体験となり、将来に渡って人生の財産になると思い応募しました。
- ・かねてから、日本文化を体現して紹介できるような日本人としての生き方について考えておりました。子供自身はまだ、イメージがよくわからないため、少し関心は薄いのですが、共に経験することが大切と考えております。体験を通じて、興味を持てることがあれば個人的にも続けていきたいと思っておりますし、オリンピック、パラリンピックに向けて、自分達にも出来る事があるかもしれない、そのきっかけになればと思い、応募いたしました次第です。
- ・日頃から日本の文化などを子供に正しく教えて頂ける機会を探しておりました。また私の両親

が共に前回の東京五輪に携わった事もあり、是非とも子供にも東京五輪に関わる素晴らしい体験させてあげたいと考えております。

- ・ 保育園の時にマナーキッズショートテニスを体験しました。スポーツをする事と美しい姿勢で挨拶の大事さを学びました。子供達がすごく変わりました。また、いつか講習を受けたいと娘から言われていたのと、親の私も受けさせたいと思っていました。
- ・ 2020年、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されるという幸運なタイミングで、子供がその開催に向けて何か積極的に活動できる機会はないかと思っていました。好奇心が強く、何事も学ぶことが楽しい時期でもあり、是非参加したいと言っております。参加を通して、日本人としての意識を持つようになり、きちんとしたマナーや心が身につけばいいなと思っています。
- ・ オリンピックに携われる機会は、一生に一度しかないと思うので、このような貴重な経験をさせてあげたいと思い応募しました。また、日本人として伝統文化に触れさせたいと思いました。
- ・ 東京都と墨田区の一員として、オリンピックに小さい力でも役に立ちたいと思います。世界から集まってきた方々に、日本の素晴らしいマナーを語っていきたいと思います。グローバル化の進みに伴う、マナーはいろんな問題の解決のキーであると思います。
- ・ とても素敵なプロジェクトだと、夫婦で話しておりました。子どもに日本ならではの伝統文化について、実際に経験を通し、心で感じ、身につけてほしいと思いました。そして日本の伝統を受け継ぎ、届けることのできる子どもになってほしいと思い、参加させていただきたいと思いました。

6 寄付金について

未来を担う子供達が、日本の伝統文化を体感・理解して、日本一のおもてなしができる「マナーキッズ」を目指すプロジェクトの総事業費は 3,051,500 円、内寄付金は 2,958,000 円を目標にしております。

平成 29 年 12 月 1 日現在の達成金額は、655,000 円で達成率 21,1%です。

以上